



平成28年4月11日

各 位

会 社 名 株式会社フジ
代表者名 代表取締役社長 尾崎 英雄
(コード番号 8278 東証第一部)
問合せ先 専務取締役専務執行役員
経営企画担当 佐伯 雅則
(電話番号 089-922-8112)

(訂正)「平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成26年7月7日に開示いたしました「平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 訂正の理由及び経緯

訂正の理由及び経緯につきましては、平成28年4月11日付「過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上



(訂正後)

平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月7日
東

上場会社名 株式会社 フジ 上場取引所
 コード番号 8278 URL <http://www.the-fuji.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)尾崎 英雄
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 企画・開発本部長 (氏名)佐伯 雅則 (TEL) (089) 922-8112
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	77,880	1.1	1,266	39.4	1,458	20.8	866	29.3
26年2月期第1四半期	76,963	△1.5	908	△36.9	1,206	△25.5	670	△29.1

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 1,957百万円 (△35.3%) 26年2月期第1四半期 3,025百万円 (144.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	24.56	—
26年2月期第1四半期	18.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第1四半期	161,667	61,415	37.9
26年2月期	156,292	59,088	37.8

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 61,299百万円 26年2月期 59,088百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	7.50	—	7.50	15.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	156,000	△0.3	2,400	3.2	2,700	△0.4	1,200	0.1	34.01
通期	314,000	0.2	6,300	32.0	6,700	23.2	3,100	31.9	87.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年2月期1Q	35,300,560株	26年2月期	35,300,560株
27年2月期1Q	20,666株	26年2月期	20,273株
27年2月期1Q	35,280,149株	26年2月期1Q	35,280,771株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策及び日本銀行による金融政策により、緩やかな景気の回復基調にあります。しかしながら、個人消費は、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要が生じたものの、反動による落ち込みもあり消費の伸びは鈍化しています。また、小売業界においては、エネルギーコストの上昇や原材料価格の値上げなどの不安材料も継続して抱えており、厳しい状況が続きました。

このような環境のなかで、当社グループ(当社及び連結子会社)は、経営ビジョン「中四国くらし密着ドミナント(※)」のもと、地域の豊かなくらしづくりと地域社会の発展に貢献できる企業集団を目指し、各社の有する経営資源を最大限に活用し、地域のお客様のくらしに密着した店舗及び事業の構築を推進しています。(※ドミナント・・・一定の地域において、占有率を高め同業他社と比較して優位性を確保する戦略)

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は778億80百万円(前年同期比1.1%増)となりました。営業利益は12億66百万円(前年同期比39.4%増)、経常利益は14億58百万円(前年同期比20.8%増)、四半期純利益は8億66百万円(前年同期比29.3%増)となりました。

(連結業績)

(単位：百万円)

	平成26年2月期第1四半期		平成27年2月期第1四半期	
		前年同期比		前年同期比
営業収益	76,963	1.5%減	77,880	1.1%増
営業利益	908	36.9%減	1,266	39.4%増
経常利益	1,206	25.5%減	1,458	20.8%増
四半期純利益	670	29.1%減	866	29.3%増

セグメント別の状況は、次のとおりです。

【小売事業】

総合小売業では、平成26年度の経営方針を『お客様満足の実現』とし、「うれしい」があふれる明るく元気な店舗・売場づくり、経営基盤強化に向けたコスト構造の変革、新しい市場機会の開拓を推し進めています。

店舗では、4月にマルシェ事業の2号店として海産物を主体とする「瀬戸内海響市場エフ・マルシェ」(愛媛県松山市)を出店いたしました。また、「エミフルMASAKI」(愛媛県伊予郡松前町)において、本年夏までに、テナント全体の8割にあたる約160店をリニューアルする大規模な改装を行う予定であり、先行して3月に約60店がリフレッシュオープンしています。さらに、「フジグラン北島」(徳島県板野郡北島町)においても大型テナントを導入するなど収益力向上に向けて改装を行っています。

前連結会計年度よりFC展開を進めている、ファッション専門店「SHOO・L A・RUE(シューラルー)」を、4月にフジグラン北宇和島に新設いたしました。

これらの結果、小売事業の営業収益は764億49百万円(前年同期比0.1%減)となりました。

【小売周辺事業】

総合フィットネスクラブ事業では、株式会社フジ・スポーツ&フィットネスが、当社より事業を承継し、3月より事業を開始しています。地域のお客さまに圧倒的に支持され続けるビジネスモデルの構築に取り組んでいます。なお、3月に「フィッタNAVI北斎院店」(愛媛県松山市)を新設しました。

また、青果卸売業を営む株式会社フジ・アグリフーズを当連結会計年度より連結の範囲に含めています。

これらの結果、小売周辺事業の営業収益は76億95百万円(前年同期比43.7%増)となりました。

【その他】

不動産賃貸業では、引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。また、総合ビルメンテナンス業を営む株式会社フジセキュリティを当連結会計年度より連結の範囲に含めています。

これらの結果、その他事業の営業収益は22億60百万円(前年同期比261.0%増)となりました。

(注) セグメント別の営業収益には、売上高及び営業収入を含め、セグメント間の取引も含めています。

また、記載金額には、消費税等を含めていません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、現金及び預金が20億13百万円、有形固定資産が24億41百万円増加したことなどにより1,616億67百万円となり、前連結会計年度末と比較し53億74百万円増加しました。

負債の残高は、支払手形及び買掛金が36億89百万円増加し、一方で、長期借入金が22億87百万円減少したことなどにより1,002億51百万円となり、前連結会計年度末と比較し30億47百万円増加しました。

純資産の残高は、614億15百万円となり、前連結会計年度末と比較し23億27百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月14日に発表した第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年 2 月28日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成26年 5 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,222	7,235
受取手形及び売掛金	1,451	1,912
営業貸付金	1,521	1,394
商品	11,164	11,928
その他	2,654	2,755
貸倒引当金	△355	△347
流動資産合計	21,658	24,879
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	51,216	52,374
土地	32,197	33,811
その他（純額）	5,941	5,610
有形固定資産合計	89,354	91,796
無形固定資産	6,248	6,211
投資その他の資産		
差入保証金	12,841	11,494
建設協力金	7,463	6,780
その他	18,726	20,506
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	39,030	38,779
固定資産合計	134,633	136,788
資産合計	156,292	161,667

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,762	21,451
短期借入金	15,344	16,013
未払法人税等	1,214	559
賞与引当金	858	1,605
商品券回収損引当金	123	134
その他	11,848	12,231
流動負債合計	47,151	51,996
固定負債		
長期借入金	31,168	28,880
退職給付引当金	1,438	1,464
役員退職慰労引当金	302	299
利息返還損失引当金	685	613
長期預り保証金	11,629	11,538
資産除去債務	2,818	2,842
その他	2,010	2,615
固定負債合計	50,052	48,254
負債合計	97,203	100,251
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,921	15,921
資本剰余金	16,257	16,257
利益剰余金	23,758	24,875
自己株式	△36	△36
株主資本合計	55,901	57,017
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,193	4,288
繰延ヘッジ損益	△6	△6
その他の包括利益累計額合計	3,187	4,282
少数株主持分	-	115
純資産合計	59,088	61,415
負債純資産合計	156,292	161,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年 5 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 3 月 1 日 至 平成26年 5 月31日)
売上高	72,347	73,292
売上原価	56,105	56,576
売上総利益	16,242	16,715
営業収入		
不動産賃貸収入	1,548	1,522
その他の営業収入	3,066	3,066
営業収入合計	4,615	4,588
営業総利益	20,858	21,304
販売費及び一般管理費	19,950	20,037
営業利益	908	1,266
営業外収益		
受取利息	54	46
受取配当金	78	100
持分法による投資利益	116	145
未請求ポイント券受入額	140	-
その他	154	129
営業外収益合計	543	420
営業外費用		
支払利息	200	162
商品券回収損引当金繰入額	19	30
その他	24	35
営業外費用合計	244	228
経常利益	1,206	1,458
特別利益		
投資有価証券売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除売却損	18	35
リース解約損	1	-
建設協力金解約及び変更損	-	33
店舗解約損失	14	0
特別損失合計	33	70
税金等調整前四半期純利益	1,173	1,388
法人税等	503	518
少数株主損益調整前四半期純利益	670	870
少数株主利益	-	3
四半期純利益	670	866

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	670	870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,352	1,085
持分法適用会社に対する持分相当額	3	1
その他の包括利益合計	2,355	1,087
四半期包括利益	3,025	1,957
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,025	1,953
少数株主に係る四半期包括利益	-	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。



(訂正前)

平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月7日
東

上場会社名 株式会社 フジ 上場取引所
 コード番号 8278 URL <http://www.the-fuji.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)尾崎 英雄
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 企画・開発本部長 (氏名)佐伯 雅則 (TEL) (089) 922-8112
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績 (平成26年3月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	77,520	1.1	1,292	38.0	1,488	19.8	897	27.0
26年2月期第1四半期	76,619	△1.5	935	△36.3	1,241	△25.0	706	△28.1

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 1,983 百万円 (△34.8%) 26年2月期第1四半期 3,043 百万円 (139.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	25.44	—
26年2月期第1四半期	20.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第1四半期	160,760	63,309	39.3
26年2月期	155,585	60,956	39.1

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 63,193 百万円 26年2月期 60,956 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	7.50	—	7.50	15.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想 (平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	156,000	0.1	2,400	5.2	2,700	0.7	1,200	2.0	34.01
通期	314,000	0.7	6,300	33.0	6,700	23.8	3,100	31.9	87.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年2月期1Q	35,300,560株	26年2月期	35,300,560株
27年2月期1Q	20,666株	26年2月期	20,273株
27年2月期1Q	35,280,149株	26年2月期1Q	35,280,771株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策及び日本銀行による金融政策により、緩やかな景気の回復基調にあります。しかしながら、個人消費は、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要が生じたものの、反動による落ち込みもあり消費の伸びは鈍化しています。また、小売業界においては、エネルギーコストの上昇や原材料価格の値上げなどの不安材料も継続して抱えており、厳しい状況が続きました。

このような環境のなかで、当社グループ(当社及び連結子会社)は、経営ビジョン「中四国くらし密着ドミナント(※)」のもと、地域の豊かなくらしづくりと地域社会の発展に貢献できる企業集団を目指し、各社の有する経営資源を最大限に活用し、地域のお客様のくらしに密着した店舗及び事業の構築を推進しています。(※ドミナント・・・一定の地域において、占有率を高め同業他社と比較して優位性を確保する戦略)

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は775億20百万円(前年同期比1.1%増)となりました。営業利益は12億92百万円(前年同期比38.0%増)、経常利益は14億88百万円(前年同期比19.8%増)、四半期純利益は8億97百万円(前年同期比27.0%増)となりました。

(連結業績)

(単位：百万円)

	平成26年 2 月期第 1 四半期		平成27年 2 月期第 1 四半期	
		前年同期比		前年同期比
営業収益	76,619	1.5%減	77,520	1.1%増
営業利益	935	36.3%減	1,292	38.0%増
経常利益	1,241	25.0%減	1,488	19.8%増
四半期純利益	706	28.1%減	897	27.0%増

セグメント別の状況は、次のとおりです。

【小売事業】

総合小売業では、平成26年度の経営方針を『お客様満足の実現』とし、「うれしい」があふれる明るく元気な店舗・売場づくり、経営基盤強化に向けたコスト構造の変革、新しい市場機会の開拓を推し進めています。

店舗では、4月にマルシェ事業の2号店として海産物を主体とする「瀬戸内海響市場エフ・マルシェ」(愛媛県松山市)を出店いたしました。また、「エミフルMASAKI」(愛媛県伊予郡松前町)において、本年夏までに、テナント全体の8割にあたる約160店をリニューアルする大規模な改装を行う予定であり、先行して3月に約60店がリフレッシュオープンしています。さらに、「フジگران北島」(徳島県板野郡北島町)においても大型テナントを導入するなど収益力向上に向けて改装を行っています。

前連結会計年度よりFC展開を進めている、ファッション専門店「SHOO・LA・RUE(シューラルー)」を、4月にフジگران北宇和島に新設いたしました。

これらの結果、小売事業の営業収益は764億49百万円(前年同期比0.1%減)となりました。

【小売周辺事業】

総合フィットネスクラブ事業では、株式会社フジ・スポーツ&フィットネスが、当社より事業を承継し、3月より事業を開始しています。地域のお客さまに圧倒的に支持され続けるビジネスモデルの構築に取り組んでいます。なお、3月に「フィッタNAVI北斎院店」(愛媛県松山市)を新設しました。

また、青果卸売業を営む株式会社フジ・アグリフーズを当連結会計年度より連結の範囲に含めています。

これらの結果、小売周辺事業の営業収益は76億95百万円(前年同期比43.7%増)となりました。

【その他】

不動産賃貸業では、引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。また、総合ビルメンテナンス業を営む株式会社フジセキュリティを当連結会計年度より連結の範囲に含めています。

これらの結果、その他事業の営業収益は18億62百万円(前年同期比661.2%増)となりました。

(注) セグメント別の営業収益には、売上高及び営業収入を含め、セグメント間の取引も含めています。

また、記載金額には、消費税等を含めていません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、現金及び預金が19億69百万円、有形固定資産が24億34百万円増加したことなどにより1,607億60百万円となり、前連結会計年度末と比較し51億75百万円増加しました。

負債の残高は、支払手形及び買掛金が35億68百万円増加し、一方で、長期借入金が22億87百万円減少したことなどにより974億51百万円となり、前連結会計年度末と比較し28億21百万円増加しました。

純資産の残高は、633億9百万円となり、前連結会計年度末と比較し23億53百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月14日に発表した第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年 2 月28日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成26年 5 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,119	7,088
受取手形及び売掛金	1,201	1,517
営業貸付金	1,521	1,394
商品	11,164	11,928
その他	2,188	2,296
貸倒引当金	△270	△263
流動資産合計	20,924	23,962
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	51,216	52,374
土地	32,197	33,811
その他（純額）	5,941	5,603
有形固定資産合計	89,354	91,789
無形固定資産	6,240	6,203
投資その他の資産		
差入保証金	12,701	11,354
建設協力金	7,463	6,780
その他	18,902	20,671
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	39,066	38,804
固定資産合計	134,661	136,798
資産合計	155,585	160,760

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年 2 月 28 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成26年 5 月 31 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,258	20,827
短期借入金	14,294	14,871
未払法人税等	1,203	557
賞与引当金	830	1,550
商品券回収損引当金	123	134
その他	10,988	11,374
流動負債合計	44,700	49,316
固定負債		
長期借入金	31,168	28,880
退職給付引当金	1,406	1,433
役員退職慰労引当金	280	280
利息返還損失引当金	685	613
長期預り保証金	11,626	11,535
資産除去債務	2,818	2,842
その他	1,943	2,549
固定負債合計	49,929	48,134
負債合計	94,629	97,451
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,921	15,921
資本剰余金	16,257	16,257
利益剰余金	25,637	26,785
自己株式	△36	△36
株主資本合計	57,779	58,927
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,182	4,272
繰延ヘッジ損益	△6	△6
その他の包括利益累計額合計	3,176	4,266
少数株主持分	-	115
純資産合計	60,956	63,309
負債純資産合計	155,585	160,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年 5 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 3 月 1 日 至 平成26年 5 月31日)
売上高	72,347	73,292
売上原価	56,105	56,576
売上総利益	16,242	16,715
営業収入		
不動産賃貸収入	1,580	1,554
その他の営業収入	2,691	2,673
営業収入合計	4,271	4,227
営業総利益	20,513	20,943
販売費及び一般管理費	19,577	19,650
営業利益	935	1,292
営業外収益		
受取利息	54	46
受取配当金	78	99
持分法による投資利益	116	145
未請求ポイント券受入額	140	-
その他	153	126
営業外収益合計	542	418
営業外費用		
支払利息	194	157
商品券回収損引当金繰入額	19	30
その他	22	33
営業外費用合計	236	222
経常利益	1,241	1,488
特別利益		
投資有価証券売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除売却損	18	35
リース解約損	1	-
建設協力金解約及び変更損	-	33
店舗解約損失	14	0
特別損失合計	33	70
税金等調整前四半期純利益	1,208	1,418
法人税等	501	516
少数株主損益調整前四半期純利益	706	901
少数株主利益	-	3
四半期純利益	706	897

四半期連結包括利益計算書
第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年 5 月 31 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 3 月 1 日 至 平成26年 5 月 31 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	706	901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,333	1,080
持分法適用会社に対する持分相当額	3	1
その他の包括利益合計	2,337	1,082
四半期包括利益	3,043	1,983
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,043	1,979
少数株主に係る四半期包括利益	-	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。